



2021年1月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年6月5日

上場会社名 ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングス株式会社
 コード番号 3657 URL <https://www.poletowin-pitcrew-holdings.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橘 鉄平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部部长 (氏名) 山内 城治

TEL 03-5909-7911

四半期報告書提出予定日 2020年6月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年1月期第1四半期の連結業績(2020年2月1日～2020年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第1四半期	6,332	4.6	606	20.1	651	6.9	383	7.4
2020年1月期第1四半期	6,053	10.1	758	39.3	700	33.6	414	91.1

(注) 包括利益 2021年1月期第1四半期 100百万円 (79.1%) 2020年1月期第1四半期 482百万円 (273.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第1四半期	10.13	10.13
2020年1月期第1四半期	10.95	10.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年1月期第1四半期	18,658	13,967	74.4
2020年1月期	17,763	14,320	80.1

(参考) 自己資本 2021年1月期第1四半期 13,890百万円 2020年1月期 14,230百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期		0.00		12.00	12.00
2021年1月期					
2021年1月期(予想)		0.00		13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年1月期の連結業績予想(2020年2月1日～2021年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,768	11.0	1,554	3.6	1,560	1.2	1,000	4.8	26.26
通期	28,744	10.0	3,587	1.6	3,576	2.9	2,341	30.9	61.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年1月期1Q	38,124,000 株	2020年1月期	38,120,800 株
期末自己株式数	2021年1月期1Q	272,934 株	2020年1月期	272,934 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年1月期1Q	37,850,053 株	2020年1月期1Q	37,846,466 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の影響による極めて厳しい状況が続くと見込まれ、感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意する必要があります。また、金融資本市場の変動等を注視する必要があります。

このような経済状況のもと、当社グループの主要事業であるデバッグ・検証事業の関連市場においては、家庭用ゲームソフト、ソーシャルゲームともにグローバル展開が主流となっており、多言語対応を前提としたデバッグ、ローカライズ（翻訳）、音声収録やカスタマーサポートの需要が増加しております。直近では、感染症拡大防止のためのいわゆる巣ごもり生活により、ゲーム市場は拡大傾向にあり、デイリーアクティブユーザー（DAU）も増加しております。

一方、ネットサポート事業の関連市場においては、政府によるキャッシュレス化の推進により、QRコード決済関連不正モニタリング、本人確認手続き（KYC）、アンチマネーロンダリング（AML）や振る舞い検知関連サービス等の需要が増加しております。また、デバッグ・検証事業同様、巣ごもり生活により、Eコマース（電子商取引）が拡大しており、規約違反の出品がないかのモニタリング、薬機法や景品表示法等に基づく広告審査、エンドユーザーからのお問い合わせ対応等の需要が増加しております。

当社グループにおいては、顧客企業の事業多角化や海外展開、業務プロセスの高度化や複雑化に伴い発生する業務のアウトソーシング事業者として、「人」によるチェック、テスト、モニタリングや審査等のサービスを提供しております。市場において新たなサービスが創出されることにより、デバッグ・検証事業及びネットサポート事業ともにビジネスチャンスにつながっております。当第1四半期連結累計期間においては、当社ではゲーム開発・運営・パブリッシング等の共同事業を行い、収益分配を受けることを目的として、2月に株式会社ビジュアルイズと資本業務提携いたしました。ポルトゥウィン株式会社では、国内デバッグ・検証事業のサービス機能を整理・集約し、顧客企業に対するサービス力を向上させることを目的として、2月にポルトゥウィンネットワークス株式会社を吸収合併いたしました。PTW International Holdings Limited では国内顧客企業のグローバル展開を専門的に支援することを目的として、2月にPTWジャパン株式会社を設立いたしました。国内拠点と海外10カ国18拠点の連携により、デバッグ、ローカライズ、音声収録、ゲーム開発・マーケティング支援、モニタリング、カスタマーサポート等の「ワンストップ・フルサービス」の提供をグローバルで推進いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,332,309千円（前年同期比4.6%増）、営業利益は606,260千円（同20.1%減）、経常利益は651,527千円（同6.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は383,579千円（同7.4%減）となりました。なお、感染症による今後の影響については、「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① デバッグ・検証事業

当事業におきましては、国内外グループ会社の連携を図ることで、国内外ゲームソフトメーカーのグローバル展開サポートに努め、デバッグ、ローカライズ、カスタマーサポート（海外）、音声収録等のゲームソフトメーカー向けアウトソーシングサービスの受注拡大を推進いたしました。ゲーム市場では海外現地企業との取引が拡大し、ノンゲーム市場では第三者検証サービスの受注が増加しました。なお、当第1四半期連結累計期間よりPTWジャパン株式会社（2020年2月3日付で連結子会社ポルトゥウィン株式会社を分割会社とする新設分割により新規設立）及びエンタライズ株式会社の決算日を12月31日としたことにより、両社財務諸表の連結財務諸表に対する反映が2月、3月の2か月間となっております。この結果、デバッグ・検証事業の売上高は4,742,525千円（前年同期比3.8%増）、営業利益は559,610千円（同16.4%減）となりました。

② ネットサポート事業

当事業におきましては、QRコード決済や仮想通貨等のフィンテック関連サービスにおける不正モニタリング、本人確認手続き、アンチマネーロンダリングや振る舞い検知サービスの受注が増加いたしました。また、巣ごもり生活によるEコマース拡大により、Eコマースサイトにおける出品物モニタリング、商品やサービスに関する電話・メール・チャット・チャットボットによるカスタマーサポート（国内）等のアウトソーシングサービスの受注が増加いたしました。デバッグ・検証事業との営業連携により、ゲーム市場向けのカスタマーサポートの受注も増加いたしました。この結果、ネットサポート事業の売上高は1,516,453千円（前年同期比5.7%増）、営業利益は101,989千円（同23.7%増）となりました。

③ その他

Palabra株式会社において、今後の映像バリアフリー化時代を見据え、テレビ番組や映画のバリアフリー字幕や音声ガイド制作のサービスを提供しております。アイメイト株式会社において、医療機関で働く外国人人材のビザ取得や就学等、国内生活手続きをサポートするサービスを提供しております。当事業の売上高は73,331千円（前年同期比49.5%増）、営業損失は52,302千円（前年同期は6,544千円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

流動資産は、前連結会計年度末に比べて825,991千円（5.6%）増加し、15,531,319千円となりました。これは、主に現金及び預金が282,832千円、受取手形及び売掛金が146,404千円、その他（未収入金等）が363,262千円増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて68,893千円（2.3%）増加し、3,127,412千円となりました。これは、主にのれんが87,131千円減少したものの、無形固定資産のその他（著作権等）が200,000千円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて894,884千円（5.0%）増加し、18,658,732千円となりました。

② 負債の部

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,300,592千円（41.3%）増加し、4,447,493千円となりました。これは、主に短期借入金が997,308千円、未払金が104,499千円、賞与引当金が103,031千円増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて52,551千円（17.7%）減少し、243,765千円となりました。これは、主に繰延税金負債が60,961千円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,248,041千円（36.2%）増加し、4,691,259千円となりました。

③ 純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて353,156千円（2.5%）減少し、13,967,473千円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が70,594千円、その他の有価証券評価差額金が117,103千円、為替換算調整勘定が153,155千円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、感染症拡大に起因する一部業務の停止がありましたが、売上高、利益ともに概ね計画どおり推移しております。第2四半期以降については、国内外にて感染症に関する非常事態宣言発出や都市封鎖等が行われており、当社グループにおいては、海外子会社では多くの業務をテレワークにて対応し、国内子会社では感染症拡大防止対策を行いながら業務を継続するとともに一部業務をテレワークにて対応しております。顧客企業におけるゲーム、各種アプリケーションやアミューズメント機器等の開発遅延や中止により、当社グループにおいても業務受注の影響を受ける可能性があります。開発遅延に関しては、開発が再開されることにより当初計画より後ろ倒しで受注可能な見込みであります。一方、既存運営型ゲームコンテンツに関するデバッグやカスタマーサポート、EコマースやQRコード決済に関する不正モニタリング等の業務受注は堅調に推移していることから、現時点においては概ね計画どおり業績推移するものと予測しており、2020年3月12日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,514,170	10,797,003
受取手形及び売掛金	3,669,689	3,816,094
商品及び製品	8,009	7,511
仕掛品	63,797	102,650
その他	453,236	816,498
貸倒引当金	△3,575	△8,439
流動資産合計	14,705,328	15,531,319
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	878,691	891,583
減価償却累計額	△479,298	△486,675
建物及び構築物(純額)	399,393	404,908
機械装置及び運搬具	23,065	22,988
減価償却累計額	△14,180	△14,513
機械装置及び運搬具(純額)	8,884	8,475
工具、器具及び備品	1,470,181	1,457,288
減価償却累計額	△1,159,574	△1,166,694
工具、器具及び備品(純額)	310,606	290,594
有形固定資産合計	718,885	703,978
無形固定資産		
のれん	725,510	638,379
ソフトウェア	153,066	155,834
無形資産	27,229	14,457
その他	2,395	202,395
無形固定資産合計	908,202	1,011,067
投資その他の資産		
投資有価証券	587,131	584,790
敷金及び保証金	575,098	566,699
繰延税金資産	170,172	171,162
その他	175,423	198,311
貸倒引当金	△76,394	△108,594
投資その他の資産合計	1,431,432	1,412,367
固定資産合計	3,058,519	3,127,412
資産合計	17,763,847	18,658,732

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	10,299	1,007,607
1年内返済予定の長期借入金	6,536	7,415
未払金	1,725,334	1,829,834
未払費用	158,241	237,141
未払法人税等	387,666	321,063
賞与引当金	30,458	133,490
その他	828,363	910,941
流動負債合計	3,146,901	4,447,493
固定負債		
長期借入金	41,924	39,507
退職給付に係る負債	76,303	79,751
繰延税金負債	93,066	32,104
その他	85,022	92,402
固定負債合計	296,316	243,765
負債合計	3,443,217	4,691,259
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,237,674	1,237,800
資本剰余金	2,377,916	2,378,042
利益剰余金	10,706,356	10,635,761
自己株式	△169,686	△169,686
株主資本合計	14,152,260	14,081,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163,869	46,765
為替換算調整勘定	△85,133	△238,289
その他の包括利益累計額合計	78,735	△191,523
非支配株主持分	89,633	77,078
純資産合計	14,320,629	13,967,473
負債純資産合計	17,763,847	18,658,732

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)
売上高	6,053,361	6,332,309
売上原価	4,189,487	4,511,898
売上総利益	1,863,874	1,820,410
販売費及び一般管理費	1,105,232	1,214,150
営業利益	758,642	606,260
営業外収益		
為替差益	—	31,788
助成金収入	7,098	10,817
その他	7,057	4,981
営業外収益合計	14,156	47,587
営業外費用		
支払利息	—	502
為替差損	69,619	—
持分法による投資損失	2,241	—
その他	762	1,817
営業外費用合計	72,623	2,320
経常利益	700,174	651,527
税金等調整前四半期純利益	700,174	651,527
法人税等	285,855	280,503
四半期純利益	414,319	371,024
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△12,555
親会社株主に帰属する四半期純利益	414,319	383,579

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)
四半期純利益	414,319	371,024
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,651	△117,103
為替換算調整勘定	66,821	△153,155
その他の包括利益合計	68,473	△270,259
四半期包括利益	482,793	100,764
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	482,793	113,320
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△12,555

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	デバッグ・ 検証事業	ネット サポート 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,569,192	1,435,120	6,004,312	49,049	6,053,361	—	6,053,361
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,428	8,186	10,615	—	10,615	△10,615	—
計	4,571,621	1,443,306	6,014,928	49,049	6,063,977	△10,615	6,053,361
セグメント利益 又は損失(△)	669,302	82,462	751,765	△6,544	745,220	13,421	758,642

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に出版・メディア事業、医療関連人材紹介サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額13,421千円には、セグメント間取引消去195,165千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△181,743千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	デバッグ・ 検証事業	ネット サポート 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,742,525	1,516,453	6,258,978	73,331	6,332,309	—	6,332,309
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	44,273	44,273	—	44,273	△44,273	—
計	4,742,525	1,560,726	6,303,251	73,331	6,376,583	△44,273	6,332,309
セグメント利益 又は損失(△)	559,610	101,989	661,599	△52,302	609,297	△3,036	606,260

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に出版・メディア事業、医療関連人材紹介サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△3,036千円には、セグメント間取引消去171,890千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△174,927千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。